

## 市道路線の認定及び変更条例

### 全員賛成で可決

今回の市道認定は13路線、変更は18路線となった。

**問** 開発に伴って市に帰属された道路に問題が起きた場合、業者責任はあるのか。

**答** 基本的に開発によってできた道路については、市の指導要綱上で3年間の瑕疵担保期間を設けている。この期間において業者の過失があれば業者責任で対応することになっている。

## お魚センター使用料改正の条例

### 全員賛成で可決

市はお魚センター隣接に魚の加工場を新設。このため加工場施設および既存施設の使用料の見直しを行った。

**問** お魚センターおよび加工場の使用料が今回の案になった根拠は。

**答** 市の行政財産使用料条例があり、同条例の中で建物の評価価格の1000分の6を乗じた額としている。ただし同条例の中で「使用料の額を算定することが著しく不適当または困難と認められる場合には実情を考慮して市長が定める」となっている。このことを適用し今まで使用料を建物の評価価格1000分の2として使用料設定を行っていたことから今回も同様の措置とした。



使用料が改定されるお魚センター

(建設環境委員会審査報告)

## 総括質疑

会派の代表4人が

### 1. 榎本 博【ふくつ未来】・・・P9

- ①行政手法の課題について
- ②持続可能なまちの発展に向けた事業の効果について
- ③市政運営指針の4つの柱について
- ④持続可能な開発目標について
- ⑤子どもを取り巻く環境整備について
- ⑥地方財政と職員の技能向上について

### 2. 横山 良雄【福新会】・・・P9

- ①行財政集中改革プランについて
- ②議会との対話について
- ③教育長、代表監査、副市長について
- ④地方創生の取組みについて
- ⑤「新しい福津の推進」について
- ⑥「暮らしやすい福津の推進」について
- ⑦「子どもたちへの福津の推進」について
- ⑧「人がつながる福津の推進」について
- ⑨市長公約について
- ⑩予算編成の基本方針について
- ⑪予算編成の一般会計について
- ⑫予算編成の特別会計について
- ⑬予算編成の公共下水道事業会計について

### 3. 米山 信【新政会】・・・P10

- ①第二次観光基本計画について
- ②子育て支援の取組みについて
- ③小・中学校のICT学習環境整備事業について
- ④郷づくり活動のさらなる充実について

### 4. 蒲生 守【公明党】・・・P10

- ①予算編成方針について
- ②新しい福津の推進について
- ③暮らしやすい福津の推進について
- ④子どもたちへの福津の推進について
- ⑤人がつながる福津の推進について
- ⑥財源確保について

総括質疑の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。  
質問者ごとに総括質疑を録画配信しています。  
公開は、各定例会後の4年間で。 (検索方法は19ページに掲載)



福津市古墳キャラクター  
ふんちゃん

## 持続可能なまちの発展に 向けた事業の効果は

具体的な波及効果は  
把握していない

**問** 地域商社、オリンピック誘致等で31年度見込まれる経済波及効果と雇用創出は。また達成年度は。

**答** 具体的な波及効果として把握はしていないが雇用創出は拡大できると期待している。目標達成年度は早い時期に進めていきたい。



平成30年11月に開業した地域商社「福津いいざい」

### ▼市政運営の4つの柱について

**問** 市政運営指針で示された4つの柱の中で特に「第2次観光基本計画・商工業の活性化と事業所誘致・農水産業の活性化・地域交通体系・郷づくり活動のさらなる充実」の効果と達成時期は。

**答** 観光基本計画は第2次観光基本計画で施策の効果・達成時期を示したい。商工業の活性化と事業誘致は商工会が経営発達支援計画を策定しており、中小企業振興条例を策定し、支援していきたい。また事業所誘致はリモートワーク等を考えている。農業の活性化は、国の次世代投資資金を活用して後継者育成に取組んでいきたい。水産業は育てる漁業にシフトし、地域商社との連携で販路の拡大を行いたい。地域交通体系は大手バス会社等との連携で多様な交通網へ転換を図っていききたい。郷づくり活動は交付金の使途の公正性を条文化した条例の改正等で市民に認められた地域自治活動にしたい。



ふくつ未来  
榎本 博

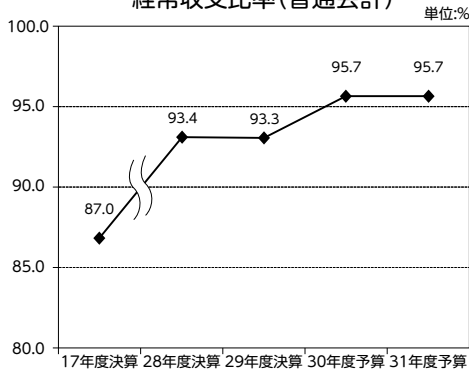
## 年次の検証と改善で意欲 ある予算編成方針を

次年度は改訂し丁寧な  
説明を議会に約束する

**問** 今般の予算編成方針と基本方針及び予算編成手法については、平成29年度、30年度、31年度と、何一つ文言が変わっていない。議会での総括質疑をどのようにお考えか。少しでも年次の検証を踏まえた意欲ある改善点を盛り込むべきではないのか。

**答** 次年度は、同じ文面ではなく、重点的にやり方等も含め改訂し、議会での丁寧な説明を約束する。

経常収支比率（普通会計）



経常経費の抑制と自主財源施策を

### ▼経常収支の改善で将来負担を軽減

**問** 一般会計は、自主財源の伸びが小幅である。次年度以降は更に財源不足が懸念されるが、基金の繰入抑制をどのようにするのか。

**答** 財政調整基金の取り崩しが必要となる。今後は慢性的な財源不足に陥る懸念がある。事業の取捨選択により既存事業の整理、統廃合を実施。特定目的基金は事業計画に伴い優先度を考え繰り入れる。

### ▼健康寿命延伸と保険事業の安定を

**問** 特別会計では、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の3事業連携により、安定と被保険者の負担緩和をどのようにするのか。

**答** 後期高齢者を対象に通いの場、福祉会やサロンなど介護と保険事業を一体とした事業に取り組む。



福新会  
横山 良雄

## 観光振興には拠点となる 宿泊施設の誘致を

民間の情報収集に努め  
戦略的に進めて行く

**問** 福岡県の資料によると、平成28年度宗像市の宿泊客35万9千人に対し、福津市は7千人である。福津市に拠点となる宿泊施設がないため宿泊者が少ないと考えるが、市の見解は。

**答** 観光客のわずか0.13%の宿泊者で、施設がないことが市の弱みである。民間の情報収集に努め、



観光振興のために宿泊施設の充実を(光の道)



新公明党 米山 信

周囲の理解を得ながら戦略的に進めて行くことが重要である。

### ▼療育と特別支援教育の一体化を

**問** 発達支援事業や障がい児通常支援事業を継続して行なうためには療育と教育を一体化する必要がある。市の見解は。

**答** 子育て包括支援センター設立準備係において、各関係機関の連携を最大限に発揮できるよう、就学前・就学後を見据えた機能的な体制を構築していきたい。

### ▼新学習指導要領に基づくICT環境整備は

**問** 学校におけるICT環境整備を福津市教育の情報化推進計画において、どのように実施するのか。

**答** 2019年度から2026年度の8ヶ年を前期・後期に分け、段階的に整備を進めていく。

## 小中学校・保育園・学 童保育所の施設整備は

新設小学校建設の  
検討を行う

**問** 保育所、学童保育所、小学校、中学校の施設整備計画の中長期的展望はどのようになっているのか。

**答** 保育所は、定員が120名の認可保育所を2園、小規模保育施設を1園整備する。また学童保育所は、福岡南小に第4、第5学童保育所、合計で110名定員の施設を整備する予定にしている。次に小中学校施設検討は、特に



児童数が急増している福岡南小学校

**問** 福岡・福岡南小学校、福岡中学校では今後も児童生徒数の増加が見込まれ大規模校となることが確実となり、平成31年度に新設校設置の検討も含めた学校教育施設全体の施設基本構想を策定する。

**答** 小学校の新設校建設についての見解は。また学校の敷地内にこれ以上の学童保育所施設は建設できないと考えるが、学校施設建設の中に学童施設を併設できないか。

**問** 今までの施設整備の考えは児童生徒数が、将来減少することからリース校舎で対応してきた。ただ現状は想定をはるかに超える児童生徒数であり、今の状況で本当に充実した学校生活が送れるのか検討するため今回の予算計上となった。また、学童保育施設整備が必要な学校があることは認識しているが、教室の確保が最優先されるため、学校施設に学童保育所を併設整備することは非常に難しい。



公明党 蒲生 守





# 一般質問



## 1. 森上 晋平 ..... P12

- ①本市における先進的な教育及び先端技術に関する教育への取組みについて

## 2. 下山 昭博 ..... P12

- ①待機児童対策の解消について
- ②在宅介護の支援について
- ③児童生徒増に伴う小中学校の課題と対策について

## 3. 中村 清隆 ..... P13

- ①旧東福岡保育所跡地について
- ②市内小中学校の職員の働き方についての課題と改善策について
- ③会計年度任用職員制度について

## 4. 八尋 浩二 ..... P13

- ①本市における景観条例に関わる現状と今後のあり方について
- ②農業活性化に向けた取組みについて

## 5. 石田 まなみ ..... P14

- ①広報紙配布方法と自治会・郷づくりについて
- ②不登校・ひきこもり等の子どもたちの支援について

## 6. 田中 純子 ..... P14

- ①本市の「子育て支援」と「子育て応援」について

## 7. 戸田 進一 ..... P15

- ①市民に真に役立つ「国民健康保険制度」にするために自治体としてできること
- ②地域づくりについて

## 8. 秦 浩 ..... P15

- ①わかたけ広場について
- ②防災について

## 9. 尾島 武弘 ..... P16

- ①有害鳥獣対策について
- ②農地の基盤整備の進捗状況について

## 10. 中村 晶代 ..... P16

- ①今後のミニバスの路線の見直しと拡充について
- ②通学路の安全確保について
- ③学校のトイレや公共のトイレの洋式便器化について

## 11. 福井 崇郎 ..... P17

- ①福津市第2次総合計画策定について
- ②子ども・若者の主体的なまちづくりへの参加について

一般質問の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。  
質問者ごとに一般質問を録画配信しています。公開は、各定例会後の4年間です。  
(検索方法は19ページに掲載)



福津市古墳キャラクター  
ふんちゃん





森上 晋平

## 先端技術への 取り組みについて

### ICT推進の要望を 文科省や国に行う

**問** 本市の先端技術に関する教育への取り組みについてお尋ねする。

**答** 新しい学習指導要領ではプログラミング教育の必修化など、学校におけるICT学習環境の推進は喫緊の課題であり、教育委員会では福津市情報化推進計画を策定した。来年度から段階的に整備を進め、学校でのICT学習環境を整えて参りたいと考えている。

**問** 先日、福岡県知事が選挙公約の中で、中小企業を経済発展の原動力と位置つけた。デジタル化の推進が福津市の産業にとってプラスになると考える。市長の考えは。



Society5.0へ向けて

**答**

ICT環境整備の充実は大変重要である。情報化を促進する為の全国の首長会議への出席などを通して、高度情報化の推進を福津市から福岡県を通じて、九州市長会に要望する。また文科省、国に対して要望していく事を約束する。

**問**

プログラミング教育というのは失敗を繰り返しながら結果を出す「プロセス重視」の授業であり、ぜひ早期に実施して欲しい。

**答**

まちづくり及び教育においてプロセスが重要視された将来の世代の育成に適したものがプログラミング教育であり、ICT教育であると認識し、この政策を進めていく。



下山 昭博

## 待機児童の 早期解消を求む

### 保育園や一時預かり 保育施設増が急務では

**問**

一時預かり保育支援は。

**答**

本市では、国県の補助制度を活用して、認可保育所3園、小規模保育施設3園で、一時預かり事業を実施している。今後も一時預かり保育施設増について協議する。

**問**

保育所の増園計画は。

**答**

認可保育所2園、小規模保育施設(0〜2歳児)1園の整備を予定している。本年6月、認可保育園「日時野あおぞら保育園」を開設予定である。

### ▼在宅介護支援について



建設途中の「日時野あおぞら保育園」

平成31年3月末撮影

**問**

介護士有資格者による在宅介護支援は。

**答**

家族介護者には介護用品等補助をしている。介護士有資格者による家族介護者支援は行っていない。

**問**

空家活用の共同生活介護施設に一時預かり施設を併用する政策は。

**答**

支えあい協議体との意見交換も交え、提案内容が実現できるようにサポートする。

### ▼新設小中学校の計画が必要では

**問**

子どもの急増に伴う新設校計画は。

**答**

中・長期の基本構想を策定する。



中村 清隆

## 旧東福岡保育所の 今後の利活用は

地域の子育て世代の  
ために事業を

**問** 現在の利用状況は。

**答** 近郊の事業所が、月1回地域の交流の場として、子どもの広場「ほかぽか」や「わくわく子ども食堂」を開催し、年間826名が参加。

**問** 今後の活用は。

**答** これらの事業内容を拡大し、新たに小中学生の学習支援として、寺子屋の開催等を計画中。

**問** 市としての支援策はあるのか。

**答** 子育て世代包括支援センターができれば、その中で子育て支援等



地域の子育て支援 地域の方々との交流の場

が活発に行われるよう環境整備や連携強化、情報のやりとりを始めていきたい。

## ▼小中学校職員の働き方について

**問** 長時間勤務の改善策は。

**答** 研修実施回数を年間19回削減。特別支援教育支援員等の充実、課題解決のための非常勤講師の増員、部活動指導員の配置を進める。学校共同事務室設置も取り組む。

## ▼会計年度任用職員制度について

**問** 条例制定の時期は。

**答** 9月定例会で上程したい。



八尋 浩二

## 景観条例に関わる 現状と今後は

準備段階だが景観計画の  
見直しを進めている

**問** 資材置き場等、設置の際の届け

出の義務化を景観条例に盛り込むではどうか問う。監視体制に対して同う。自然環境保全に対する本市の考えを問う。

**答** 県、宗像市と連携を図り、景観

計画の見直しを考えている。監視パトロールはうみがめ課が定期的に行っているが今後は消防署、警察署と連携を図り、監視体制を強化して行く。小規模な土地利用転換に対応できていない法律の対象とならない土地も多い。地域の状況の把握に努め、いろんな制度を組み合わせ総合的に進めていく。



資材置場の現状

## ▼農業活性化の取り組みについて

**問** 過去5年間で新規就農者は何人

か、定着率はどの程度か。法人化、共同事業化、または6次産業化を考えるが、本市の考えは。今後、生産性やブランド化を高めていくと考える農作物について問う。

**答** 平成26年から30年まで新規就農

者は9名で78%の定着率である。法人化や共同事業化は、地域の意志の統一が必要であるので、なかなか進んでいないのが現状である。津屋崎の無霜地野菜や、上西郷地区のクリームスイカがブランド化されているが、このような農産物の認知度向上をJAと連携を図りながらブランド化を進める。





石田 まなみ

## 地域や学校などの 現場状況の把握を

新年度は地域の課題など  
直接聞く機会を増加

問

広報紙の配布方法にポスティングが導入されることで、自治会離れが懸念されるが、市の見解と郷づくりについての考えは。

答

全世帯に広報紙が行き渡ること  
で、自治会の重要性や活動内容を  
情報発信できる好機ととらえる。  
郷づくりについては、子どもか  
ら高齢者まで支え合いながら、安  
心・安全に暮らし、人と地域のき  
ずなを作ることを目指す。

問

▼不登校・ひきこもり等の子どもた  
ちの支援について

不登校や引きこもり状態の子ど



児童と郷づくりの意見交換会

答

もたち、登校しても居づらさを感じ  
る児童生徒への対策は。

子どもたちの状況に応じた支援  
は、教育支援センター（旧ひだま  
り）で対応する。また専門家の増  
員により、相談体制も強化、関係  
機関と連携を一層充実させ、不登  
校やひきこもりの防止、解消に鋭  
意務めていく。

問

「チーム学校」のメンバーはど  
のあたりまでを言うのか。

答

専門知識を持つ方、学校の教職  
員、家庭児童相談員、主任児童委  
員などの他、それ以外にも、地域、  
保護者、全てのかたが関わって  
チーム学校とみなす。



田中 純子

## エンゼルスポットの 現状と今後は

駅の利点をいかし  
見直し案を報告する

問

現代の育児は、一人で家事も育  
児も担うワンオペ育児、地元以外  
の見知らぬ土地で子育てをするア  
ウェー育児に象徴されるように、  
子育ての負担と責任が重くなつて  
きている。更に、子どもを取り巻  
く環境は貧困や虐待、いじめや自  
殺、不登校や発達障がいの子ども  
の増加で、各家庭だけでは対処で  
きない深刻な状況である。また、  
本市では子どもの急激な人口増で  
保育園はもちろん、幼稚園にも入  
りにくい状況である。入園できな  
かった子どもや親、孫を連れての  
祖父母の居場所としても、子育て  
支援施設が担う役割は大きくなつ  
てきている。親子の出会いや仲間

答

平成31年2月末日での利用者数  
は1万7200人超となっている。  
駅という場所の利点をさらにいか  
し、改めて見直し案を報告する。



子育て支援・子育て応援の施設





戸田 進一

## 高い国保税の 引き下げを

財政上厳しいが次年度  
案として、協議する

**問** 高い国保税は、家計に大きな負担となっている。他の医療保険制度（協会けんぽ・組合健保など）と比べても、大きな負担割合であり、全国知事会・全国市長会も国に対して格差是正を求めている。本市として国の対応待ちにならず、国保税の独自軽減策を求める。具体的には、他の医療保険制度にな

い家族人数等で加算する「平等割」「均等割」の免除・軽減である。

全国でもすでに実施している自治体もあり、子育て支援の観点からも提案する。

**答** 子育て支援の観点から必要な方策と考えるが、国保の財政状況が



特定健診の検査内容の充実を

ら今の時点での導入は厳しい。しかし、一つの方法として今後協議していく。

**問**

国保制度を考える場合、市民の健康づくりをどうするのかを真剣に検討することが必要だ。特定健診で心電図検査の対象者を広げる、又は頸部エコー検査の導入などを踏み込んで検討すべきではないか。

**答**

検査費用の問題もあるが、本市の虚血性心疾患受診者が増えていると言う現状をふまえ、今後調査研究の上、心電図検査の実施については検討する。頸部エコー検査の導入はまだ検討する状態でないと考えている。



秦 浩

## わかたけ広場の 今後の対応は

公民館運営審議会の  
答申を踏まえ検討する

**問**

わかたけ広場のキャンプ場とアスレチック遊具は老朽化が進んでいる。今後の対応は。

**答**

キャンプ場はトイレも含めて一部改修して残していく。現在使用禁止となっている遊具は、トラロープが張られて2年経っている。遊ぼうと思えば遊べる大変危険な施設になっている。そういう状態にしておいたところは、本当に反省しなければならぬと思うている。今使えない遊具についてはロープだけではなく、しっかり制御できるような対応を約束する。

**問**

昨年7月大雨特別警報が発令されたときに、避難の広報が遅いと感じた。災害が起こってからでは遅いので、なるべく早い判断を求める。

**答**

空振りを恐れることなく、早めに避難広報を出していきたい。

**問**

大災害を想定した市庁舎の防災訓練は行っているのか。

**答**

基本的に地震にかかわる市役所員の訓練は年に1回行っている。



わかたけ広場の使用禁止遊具

▼防災について



尾島 武弘

## 有害鳥獣被害の 現状と対策は

狩猟、捕獲と電気柵等  
防護策にも力を入れる

**問** 近年、イノシシにより農作物に甚大な被害が出ている。また、人的被害も各地で出ているが、本市の状況と対策は。

**答** 猟友会で狩猟を行っている。ほかに福津市、宗像市、岡垣町で構成する鳥獣被害防止対策広域連絡協議会で、国の補助金を使い箱わなを購入し、無償貸し出しをしている。また、電気柵とワイヤーメッシュの補助も行っている。人的被害に対しては、宗像警察署や関係団体と連携を図り、出没情報が入った場合はすぐに対応している。

**問** 今後の市の被害対策の方針は。



箱わなで捕獲されたイノシシ

**答** 農業従事者と市民の安全を脅かさないように、狩猟、捕獲、防護に力を入れ、広報紙などを使い情報を検討していく。

## ▼農地の基盤整備の進捗状況は

**問** 実施面積と実施予定地区は。

**答** 耕地面積の70%の基盤整備が完了している。現在、3地区で説明会を開催している。

**問** 市政運営の指針で、農地の基盤整備を進めていくとしているが今後の方針は。

**答** 農地の集積化、集約化等のためにも今後も推進していく。



中村 晶代

## ミニバス・路線の 見直しと未来像は

安全で利用しやすい  
交通網の形成に取り組む

**問** 市では地域公共交通網形成計画の策定に着手しているが、今後のミニバスの将来像、見通しは。

**答** 計画は福岡運輸支局、交通事業者、利用者の代表、関係機関、市の担当部署等で構成する地域交通体系協議会において策定を進めている。運行の効率化、大手バス会社やタクシーとの連携、地域間の短い移動の推進など多様な交通モードへの転換を図り、商業施設や病院など利用者のニーズに答えしていく必要があると考える。

**問** バス停の表示が見づらく分かりにくいとの声を聞く。また、現在、



時刻表を覗き込む高齢者

バス停が道路の片側にしかない所が大半を占め非常に危険だと思われるが、その対策は。

**答** 乗車時間や距離など路線の見直しを検討する中で、乗りやすい、利用しやすい表示の仕方も検討していく。また現在、バス停140カ所のうち両側にバス停設置は11カ所しかない。経済面の問題もあるが、高齢者をはじめ利用者の安全のためにも、国の補助金などの研究も行い対策していく。

**問** 高齢化と人手不足の中、運転士の健康管理体制についての対策は。

**答** 安全運行のためにも委託会社とも協議し対策していきたい。





福井 崇郎

## まちづくり基本構想 の代替案は

市民や議員に早い段階で  
策定方針を示す

**問** 福津市まちづくり基本構想案が  
平成30年12月定例議会にて否決さ  
れている。福津市のまちづくりを  
これからどのように進めていくの  
か。

**答** 市民参画へのプロセスを尊重し  
ながら基本構想案を策定してきた。  
市民との対話を重視した市政運営  
を進め、市民が積極的に関わる事  
ができるように努める。

**問** まちづくり基本構想の策定方針  
をどのように進めるのか。

**答** 広報ふくつつ5月号にて予算編成  
方針に絡めて基本構想の今後の進



未来づくりワークショップの様子

め方について述べる。議員につい  
てもできれば6月、または9月に  
示すように考えている。

### ▼青少年活躍推進係を新設

**問** 子ども・若者のまちづくりへの  
参画をどのように展開するのか。

**答** 地域や行政との積極的な関りを  
持つリーダー的な若者たちとの  
ネットワークづくりに取り組む。  
青少年活躍推進係を新設し、職員  
を配置する。ふるさと福津市の未  
来づくりに参画し、活躍してくれ  
る青少年を積極的に掘り起こして  
いく。また、様々な関係部署と横  
断的に連携し、主体的に若者に参  
画するための環境を整えていく。



福井議員 森上議員 秦議員 石田議員 八尋議員 田中議員  
中村晶代議員 尾島議員 横山議員 蒲生議員 下山議員 高山議員 桜村議員  
中村清隆議員 榎本議員 米山副議長 江上議長 原崎市長 松田副市長 柴田教育長 戸田議員

市三役と市議会議員

平成31年2月撮影



# 賛否表

| 結果 | 議案名                                    | 議員名 | 福井 | 森上 | 秦 | 石田 | 八尋 | 田中 | 中村 | 尾島 | 下山 | 高山 | 中村 | 蒲生 | 横山 | 戸田 | 榎本 | 花村 | 米山 | 江上 |
|----|----------------------------------------|-----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 可決 | 議案第9号<br>平成31年度福津市国民健康保険事業特別会計予算について   |     | ○  | ○  | ○ | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ／  |
| 可決 | 議案第10号<br>平成31年度福津市後期高齢者医療事業特別会計予算について |     | ○  | ○  | ○ | ●  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ●  | ○  | ○  | ○  | ／  |

※議長は可否同数の時以外は表決に参加しません

○は賛成 ●は反対 ーは欠席

## 下記議案については全員賛成で承認・可決・同意

- 同意第 2号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 同意第 3号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 同意第 4号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第 2号 福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について
- 議案第 3号 平成30年度福津市一般会計補正予算(第7号)について
- 議案第 4号 平成30年度福津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第 5号 平成30年度福津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について
- 議案第 6号 平成30年度福津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第 7号 平成30年度福津市公共下水道事業会計補正予算(第2号)について
- 議案第 8号 平成31年度福津市一般会計予算について
- 議案第 11号 平成31年度福津市介護保険事業特別会計予算について
- 議案第 12号 平成31年度福津市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
- 議案第 13号 平成31年度福津市公共下水道事業会計予算について
- 議案第 14号 福津市一般職の職員の給与に関する条例を改正することについて
- 議案第 15号 福津市職員の勤務時間、休暇等に関する条例を改正することについて
- 議案第 16号 公益法人等への福津市職員の派遣等に関する条例を改正することについて
- 議案第 17号 福津市附属機関設置条例を改正することについて
- 議案第 18号 福津市税条例を改正することについて
- 議案第 19号 福津市国民健康保険税条例を改正することについて
- 議案第 20号 福津市介護保険条例を改正することについて
- 議案第 21号 福津市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例を改正することについて
- 議案第 22号 福津市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例を改正することについて
- 議案第 23号 福津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を改正することについて
- 議案第 24号 福津市魚センター条例を改正することについて
- 議案第 25号 市道路線の認定及び変更について
- 議案第 26号 工事請負契約を締結することについて
- 発議第 2号 UR等賃貸住宅ストックの活用を求める意見書の提出について

某新聞社の調査によると今年4月の入園に向け、全国72自治体で認可保育施設に申し込み、4人に1人が1次選考に落選したことが分かった。今年の10月には幼児教育・保育の無償化を控え、まだ改善が進んでいない。

本市では4月1日現在の法定待機児童数は、135名の見込みである。定員120名の日時野あおぞら保育園が、6月に開園する。

福岡駅周辺の開発で、保育園・認定こども園・小規模保育園も、多数開園してきたが、それでもまだ待機児童の解消には至っていない。

来年度、定員120名の保育園が2園、19名の小規模保育園1園が、新たに開園予定である。また、保育士不足も全国的にも深刻な状況で、定員を満たす保育士確保の対策も待機児童解消のこれからの課題である。

